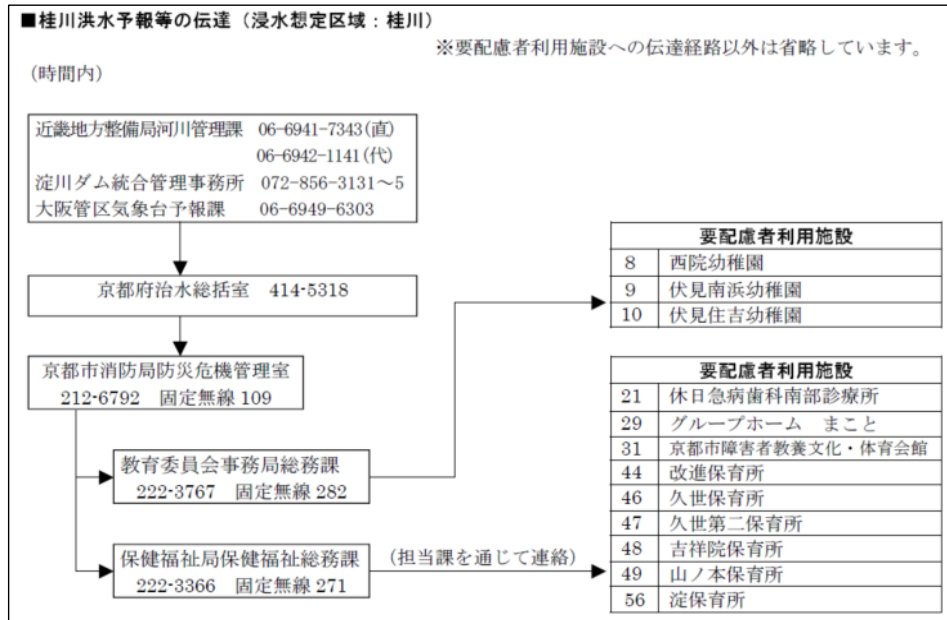


コミュニティの力をとり戻す仕組みづくり

災害時要援護者の避難誘導體制を整備(京都市)

- 水防法第15条(浸水想定区域における円滑かつ迅速な避難を確保するための措置)に関連した地域防災計画の見直し(要配慮者利用施設への洪水予報等の伝達方法)



出典:京都市地域防災計画(一般災害対策編)7

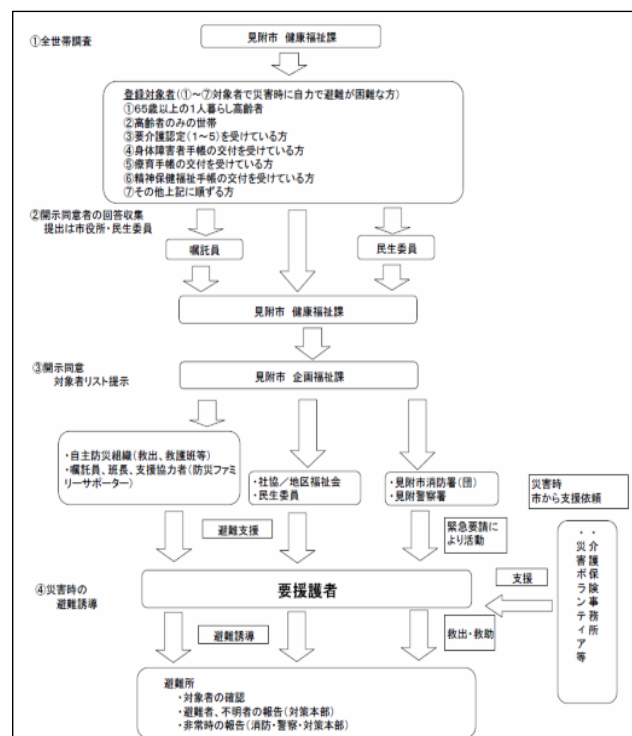
コミュニティの力をとり戻す仕組みづくり

防災ファミリーサポート制度(新潟県見附市)

- 要援護者情報の収集に係る制度として、「防災ファミリーサポート制度」を開始
- 全世帯に制度の周知と登録者募集のチラシを送付することにより、支援を必要とする要援護者と支援協力者(防災ファミリーサポーター)を全世帯手上げ方式により収集
- 1,548世帯2,115人が登録



「防災ファミリーサポート制度」の実証訓練の様子



出典:新潟県見附市149

コミュニティの力をとり戻す仕組みづくり

学校区を活用した防災福祉コミュニティづくり(神戸市明親校区)

- 小中学校を対象に、放水体験訓練、市民救命士資格取得講習(心肺蘇生法及びケガの手当)などの**防災教育**を実施
- 仮設トイレの組み立てや市民救命士資格を活かした**高齢避難者への救急措置**など、災害時に学校が避難所として使用されることを想定した、校区内の**住民との共同訓練**を実施
- 地元企業7社と**災害時応援協定**を締結し、共催の防火訓練や詰め替え期の消火器を使った実物消火訓練などを実施



鳥取県ホームページ より 69

コミュニティの力をとり戻す仕組みづくり

災害時要援護者のための避難体制づくり(鳥取県米子市)

- 地区内の独居老人など災害時に自力での避難が困難な方の調査に取組み、自宅の状況や最寄りの避難所の場所を地図に書き込んだ**災害時要援護者防災マップ**を作成
- 現場が混乱する非常時でも冷静に対処できるよう、詳細な**避難誘導マニュアル**も作成し、構成員全員に配布されており、それらを使って災害時に迅速・的確に対応できるよう**簡易型図上訓練(DIG)**も開催



鳥取県ホームページより 70

コミュニティの力をとり戻す仕組みづくり

災害時要援護者のための避難体制づくり(鳥取県日野町)

- 災害時に避難所までたどりつくのが難しいお年寄りなどのため、地区内に仮避難所を22箇所設置
- 災害時には自宅から一番近く仮避難所に集まって点呼を行い、その後集団で避難所へ移動する
- 訓練時には仮避難所に集まった人数を発表することで、参加率のアップにつながっている



鳥取県ホームページ より 71

コミュニティの力をとり戻す仕組みづくり

災害時要援護者が参加した防災訓練(横浜市中区)

- 障害者も地域の住民として避難訓練に参加
- 避難所の混乱を肌で知り、互いに守り合う方法を探る



体育館で段ボール、ブルーシートを使って自分の居場所を作る



消火器の使い方を学ぶ参加者

福祉よこはまホームページより(145号) 72

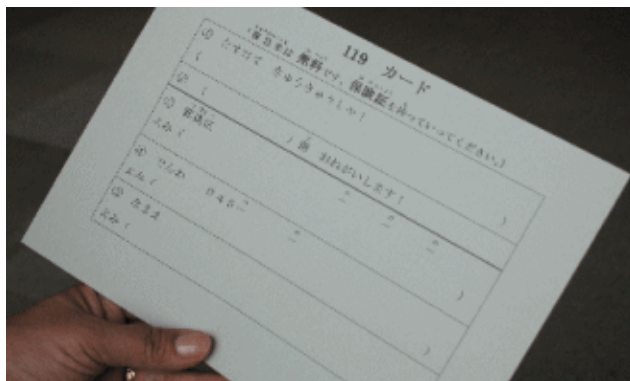
コミュニティの力をとり戻す仕組みづくり

外国籍の住民に日本語を(横浜市都筑区)

- “**情報弱者**”になりかねない外国籍の住民に、緊急の際に必要な日本語を教える仕組み



都筑区役所の多目的スペースにてボランティアとのやりとりの様子



119カードや防災シートと呼ばれるテキストを使って学習